



®環境省

エコアクション21



## 認証・登録証

認証・登録番号

0000696

認証・登録事業者

福山産業株式会社

神奈川県川崎市高津区千年 610 番地 5

事業活動

建造物解体工事、産業廃棄物収集運搬、フロン類回収業

対象事業所

本社、旭事業所、勝田 DEPO

認証・登録日

2006年3月30日

更新・登録日

2024年3月30日

有効期限

2026年3月29日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の  
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構

理事長

森本英香



COPY COPY COPY

# 環境経営活動レポート

2022年6月1日～2023年5月31日(第21期)



福山産業 株式会社

2023年6月30日 作成日

## 目 次

①	環境経営方針	P.1
②	会社概要	P.2
③	環境経営管理実施体制	P.3
④	許可の内容	P.4
⑤	収集運搬車両	P.5
⑥	環境経営目標	P.7
⑦	環境経営活動計画	P.8
⑧	環境経営目標の実績	P.9
⑨	環境経営活動計画の取組結果とその評価 及び次年度の取組内容	P.10
⑩	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P.11
⑪	代表者による全体評価と見直しの結果	P.11

# ① 環境経営方針

## 基本理念

当社は、建造物解体工事業・産業廃棄物収集運搬業を業とし、環境との共生・調和・環境への取り組みを最重要課題として認識し、自ら責任を持ち、全社一丸となって環境との共生・調和に考慮した事業活動に取組み建造物解体工事業に伴う廃棄物を分別し再資源化(リサイクル)に取り組み循環型社会に貢献します。

産業廃棄物収集運搬車両の燃費目標達成車両台数の増大、環境負荷を継続的に改善していきます。

以上を達成するために、課題とチャンスをつまみ次のような経営理念として対処します。

当社は、持続的な発展のためにSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいます。

当社は、SDGsを実施するためにCSR(企業の社会的責任)を認識しています。

当社は、CSRを実現するためにESG(環境・社会・企業統治)に取り組んでいます。

当社は、ESGの達成のためにEA21に取り組んでいます。

## 行動指針

### ① 事業を通じた環境保護

- 事業活動において、SDGs、CSR、ESG、EA21を通じ環境保護に寄与できるよう努めます。

### ② 資源・エネルギーの効率的利用

- 環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、そしてグリーン購入に努めます。
- 産業廃棄物収集運搬時に常に使う燃料による排気ガスの環境負荷を認識し改善に努めます。
- 収集運搬業では収集運搬車両のエコ・ドライブに努めます。
- 再資源化(リサイクル)の向上に努めます。
- 太陽光発電設備設置に伴い、自家発電によるCO2排出削減に努めます。

### ③ 環境関連法規の遵守

- 関連する環境法規・条例及び当社が同意したその他要求事項を遵守します。

### ④ 継続的環境経営改善の実施

- 環境経営保全に関する目的・目標を設定し、取り組み結果を見直すことにより、継続的な環境経営改善に取り組めます。

### ⑤ 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

- 環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い、また啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 地域の環境美化に努めます。

※ 環境経営方針は、すべての従業員に周知します。

2022年 6 月 1日

福山産業 株式会社

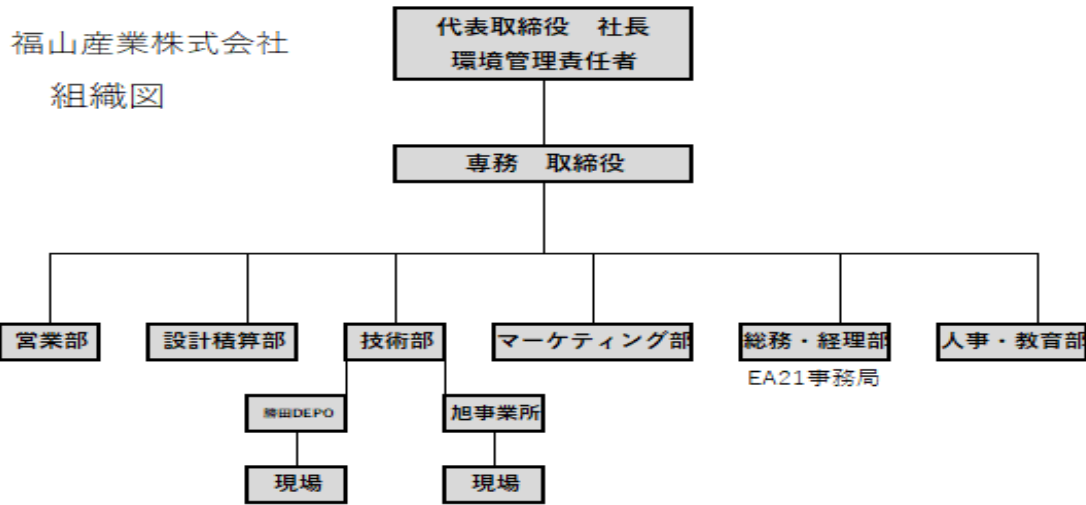
代表取締役 福山 友和

## ② 会社概要

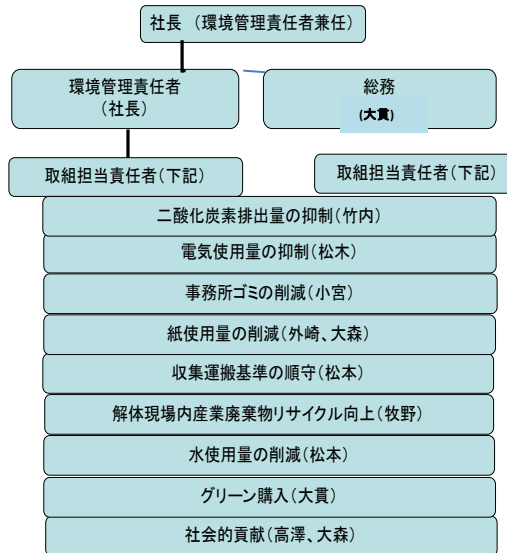
商号	福山産業 株式会社	
設立	平成15年 1月 31日	
資本金	2,000万円	
売上高	369,074万円	
代表者	福 山 友 和	
環境管理責任者	福 山 友 和	
担当者 (EA21事務局)	大貫 琴音	担当者連絡先 e-mail: oonuki.k@fukuyamasangyo.co.jp
所在地	<本社> 川崎市高津区千年610番地5 <旭>横浜市旭区川井宿町59-4 <勝田DEPO>横浜市都筑区勝田町1294	
電話番号	044-740-6692	
FAX番号	044-740-6693	
従業員数	27名(2023/5/31時点)	
事業所	本社・旭事業所・勝田DEPO	
事業内容	建造物解体工事業 / 産業廃棄物収集運搬業 / フロン類回収業	
年解体工事件数	189 件	
収集運搬量(自社)	2,162.986t / 年	
収集運搬量(委託)	9,401.936t / 年	
収集運搬量(合計)	11,564.800t / 年	
回収してきたフロン類の量 (2022/4/1~2023/3/31)	60.2kg / 年	
フロン類破壊事業者に 引き渡した量 (2021/4/1~2022/3/31)	60.2kg / 年	

承認	作成
社長	大貫

### ③ 環境経営管理実施体制



#### 実行機関



環境経営システムに関する責任・権限		代表取締役社長 福山 友和
役職	責任および権限	
社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 代表者による経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。 3. 環境方針経営の制定 4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 5. 環境経営システムの定期的見直しの実施 6. 社内情報の外部公開可否決定	
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置 2. 推進機関であるEA21EMS事務局の責任者として事務局運営 3. 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者	
エコアクション事務局	1. 環境経営活動レポート作成準備管理, 集計, 環境管理責任者補佐	
取組担当責任者	1. 部門の環境経営システムの総括責任者	
社員	1. 環境経営目標の達成するために各自の役割を把握し活動する	

④ 許可の内容

建設業の許可			備考
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号
神奈川県	有 (無)	令和5年2月28日 令和10年2月27日	(特-4)第 67484号
解体工事業、建築工事業、左官工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、大工工事業、とび・土工事業、屋根工事業、鋼構造工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業			
神奈川県	有 (無)	令和5年2月28日 令和10年2月27日	(般-4)第 67484号
造園工事業			

産業廃棄物収集運搬業				汚泥	廃油	プラスチック	紙くず	木くず	繊維屑	動植物性残渣	金属屑	ガラス・コンクリート陶器屑	鉱さい	がれき類
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号											
神奈川県	有 (無)	令和2年4月20日 令和9年3月30日	第01403102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
東京都	有 (無)	令和3年4月7日 令和10年4月6日	第13-00-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
千葉県	有 (無)	令和2年9月28日 令和9年9月27日	第01200102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
宮城県	有 (無)	令和4年4月18日 令和11年4月17日	第0400102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
群馬県	有 (無)	平成30年7月11日 令和7年7月10日	第01000102476号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
茨城県	有 (無)	令和3年9月16日 令和8年9月15日	第00801102476号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
静岡県	有 (無)	令和3年12月7日 令和8年12月6日	第02201102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

特別管理産業廃棄物収集運搬業				特定有害産業廃棄物									
都道府県及び政令都市	積替保管	許可所得年月日及び有効期限	許可番号	鉱さい	廃石綿	ばいじん	燃え殻	廃油	汚泥	廃酸	アルカリ	汚泥	指定下水
神奈川県	有 (無)	平成30年8月13日 令和7年8月12日	第01453102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
東京都	有 (無)	令和3年4月7日 令和10年4月6日	第13-50-102476号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
仙台市	有 (無)	令和2年3月16日 令和8年10月22日	第05452102476号		●								

第一種フロン類回収業			回収の対象とする第一種特定製品の種類等及びフロン類の種類							充填しようとするフロン類なし
都道府県及び政令都市	許可所得年月日及び有効期限	登録番号	種類							
			エアコンディショナー	冷蔵・冷凍機器	充填50kg以上					
			CF C	HCF C	HFC	CF C	HC FC	HFC	全てなし	
神奈川県	令和5年11月30日 令和9年11月29日	神(気水)第1-1552号	●	●	●	●	●	●	●	
東京都	平成19年12月6日 令和9年12月5日	第13103064号	●	●	●	●	●	●	●	
埼玉県	令和4年12月28日 令和9年12月27日	第19140109号	●	●	●	●	●	●	●	
千葉県	令和6年2月13日 令和11年2月12日	第12A142204号	●	●	●	●	●	●	●	

車 両 ・ 重 機 ・ ア タ ッ チ メ ン ト 一 覧 表

No	自動車登録番号	メーカー	形状	車種	最大積載量
1	横浜 130 す 1018	いすゞ	ダンプ	4ts	3,850 kg
2	横浜 130 そ 1023	日野	ダンプ	4ts	3,550 kg
3	横浜 130 た 1021	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,900 kg
4	横浜 130 ち 1025	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,950 kg
5	川崎 130 さ 1013	いすゞ	ダンプ	3tユニック	3,000 kg
6	川崎 430 に 1020	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
7	川崎 480 う 4036	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
8	川崎 480 え 6022	スズキ	キャブオーバ	軽トラ	350 kg
9	横浜 430 て 1027	いすゞ	キャブオーバ	2t平	2,000 kg
10	川崎 430 て 1026	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg
11	川崎 130 そ 1028	日野	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,650 kg
12	川崎 130 す 1029	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	8tAR	8,500 kg
13	横浜 430 は 1031	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
14	川崎 130 さ 1032	いすゞ	ダンプ	4tD	3,600 kg
15	横浜 430 と 1035	いすゞ	ダンプ	3tD	3,000 kg
16	横浜 130 ち 1033	日野	キャブオーバ	3tユニック	3,000 kg
17	横浜 430 ち 1034	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	3tAR	3,000 kg
18	横浜 130 せ 1036	いすゞ	ダンプ	8tD	7,200 kg
19	横浜 130 さ 1037	いすゞ	脱着装置付コンテナ専用車	4tAR	3,600 kg
No	自動車登録番号	メーカー	形状	車種	最大積載量
1	横浜 483 す 3300	スズキ	バン	エブリイ	860 kg
2	川崎 483 い 6600	スズキ	バン	エブリイ	350 kg
3	川崎 583 そ 2233	スズキ	箱型	アルト	- kg
4	川崎 483 い 2200	スズキ	バン	エブリイ	350 kg
5	横浜 538 も 5500	トヨタ	ステーションワゴン	シエンタ	- kg
6	川崎 583 さ 7700	スズキ	箱型	アルト	- kg
7	横浜 431 ま 1122	トヨタ	バン	プロボックス	350 kg
No	型式(製品名)	メーカー	機番	品名	バケツ容量
60	SK70SRD-2	コベルコ	YT06-18453	油圧ショベル	0.25
70	SK135SRP-2	コベルコ	YY06-16255	油圧ショベル	0.45
100	SK135SRD-2	コベルコ	YY06-19527	油圧ショベル	0.45
110	SK30SR-5	コベルコ	PW14-48417	油圧ショベル	0.13
120	SK30UR-5	コベルコ	PR08-10020	油圧ショベル	0.13
130	SK30SR-5	コベルコ	PW14-47071	油圧ショベル	0.13
160	SK75SRD-3E	コベルコ	YT08-32033	油圧ショベル	0.25
170	SK30UR-5	コベルコ	PR08-10370	油圧ショベル	0.13
180	SK75SRD-3E	コベルコ	YT08-34222	油圧ショベル	0.25
190	SK30UR-6	コベルコ	PR09-21255	油圧ショベル	0.13
200	SK75SRD-3E	コベルコ	YT08-35442	油圧ショベル	0.25
210	SK28SR-6	コベルコ	PD03-07062	油圧ショベル	0.13
220	SK30UR-5	コベルコ	PR08-09697	油圧ショベル	0.13



車 両 ・ 重 機 ・ ア タ ッ チ メ ン ト 一 覧 表

No	型式(製品名)	メーカー	機番	品名	最大荷重
勝田	02-8FD30	トヨタ	A8FDJ35-67755	フォークリフト	2,490 kg
旭01	FD20T3	TCM	2N103040	フォークリフト	2,000 kg
旭02	8FD15	トヨタ	8FD18-11716	フォークリフト	1,500 kg
No	型式(製品名)	メーカー	機番	品名	バケット容量
101	GV-30L	タグチ工業	2815	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
102	GV-30S	タグチ工業	2215	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
103	GV-30S	タグチ工業	2326	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
104	VXS-25	古河ロックドリル	-	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.13
105	TM-40	TOKU	MC400201	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.13
106	TNB-2E	東空販売	1125	ブレーカー	0.13
107	GV-30L	タグチ工業	-	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
108	GV-30S	タグチ工業	2177	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
109	GV-30S	タグチ工業	2153	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
110	TM-35B	TOKU	MC35B0078	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.13
111	TNH-190	東空販売	213515	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.13
112	TNB-3NB	東空販売	12694	ブレーカー	0.13
113	RFG15H-2	コベルコ	N201-167	解体用つかみ機:ハサミ	0.13
188	GV-32S	タグチ工業	0135	解体用つかみ機:回転フォーク	0.13
201	GV-60S	タグチ工業	2324	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
202	TD-60A	TOKU	DS60A0135	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.25
203	MC-60	タグチ工業	MC600173	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
204	MP-60A	タグチ工業	MP60A0082	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:ベンチャー	0.25
205	GV-60S	タグチ工業	3148	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
206	GV-60S	タグチ工業	3321	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
207	GV-60S	タグチ工業	2484	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
208	D-60A	タグチ工業	D61A0093	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.25
209	MC75B	タグチ工業	0077	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
210	VS-9	フルカワ	2137	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.25
211	S-60	オカダアイヨン	4125	ブレーカー	0.25
212	GV-60S	タグチ工業	2792	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
213	GV-60S	タグチ工業	2309	解体用つかみ機:回転フォーク	0.25
401	GV-120S	タグチ工業	-	解体用つかみ機:回転フォーク	0.45
402	TM-121DM5A	TOKU	0052	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:マグ小割	0.45
403	MFP-120A	ユタニ工業	0185	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:ベンチャー	0.45
404	GV-120S	タグチ工業	2952	解体用つかみ機:回転フォーク	0.45
405	D-131A	タグチ工業	D131A0089	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:大割	0.45
406	OSC-52V	オカダアイヨン	SC6E316	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.45
407	VS15	古河ロックドリル	2469	鉄骨切断機及びコンクリート圧砕機:小割	0.45

## ⑥ 環境経営目標

No	環境経営方針項目		基準値	年度目標		
				2022年度 21期 (2022.6.1~2023.5.31)	2023年度 22期 (2023.6.1~2024.5.31)	2024年度 23期 (2024.6.1~2025.5.31)
1	二酸化炭素 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量	200,000	200,000	200,000	200,000
		200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	kg-CO <sub>2</sub> /年	kg-CO <sub>2</sub> /年	kg-CO <sub>2</sub> /年	
	燃費目標達成車 両台数の増大	軽油燃費	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.00 km/L	km/L	km/L	km/L	
2	一般廃棄物排出量の削減		65 kg/年	65 kg/年	65 kg/年	65 kg/年
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・ コンクリート破片) 自社分		% / 年	70%	70%	70%
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・ コンクリート破片) 委託分		% / 年	70%	70%	70%
3	産業廃棄物の再資源化(リサイクル) リサイクル法に基づく (木くず、コンクリート破片、アスファルト・ コンクリート破片) 合計分		% / 年	70%	70%	70%
4	水使用量の削減		水道使用量 276 m <sup>3</sup> /年	276 m <sup>3</sup> /年	276 m <sup>3</sup> /年	276 m <sup>3</sup> /年
5	化学物質の削減		(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)			
6	グリーン購入の推進		グリーン購入 マニュアルの作成	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施	マニュアルに基づく 注文の実施
7	環境配慮サービスの提供		紙使用量	90,000	90,000	90,000
			90,000 枚/年以下			
			現場周辺清掃回数	50	50	50
			50 回/年			
		エコキャップ回収量	3,500	3,500	3,500	
		3,500 個/年				

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

⑧ 環境経営目標の実績(2022年6月1日～2023年5月31日)

No	環境経営方針項目		基準値	目標	実績	達成度	
1	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量 200,000 kg-CO <sub>2</sub> /年	200,000	120,689	○ 60%	
		燃費目標達成車両台数の増大	軽油燃費 5.00 km/L	5.00	4.78	△ 95%	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	65 kg/年	65	86.3	× 132%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 自社分		% / 年	70%	79%	○ 112%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 委託分		% / 年	70%	85%	○ 121%	
4	産業廃棄物の再資源化(リサイクル)リサイクル法に基づく(木くず、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片) 合計分		% / 年	70%	84%	○ 120%	
5	水使用量の削減		水道使用量 276 m <sup>3</sup> /年	276	322	× 116%	
6	化学物質の削減		(PRTR法の対象物質は取り扱っていない)				
7	グリーン購入の推進		グリーン購入マニュアル	マニュアルに基づく注文の実施	マニュアルに基づく注文の実施	○	
8	環境配慮サービスの提供		紙使用量	90,000	90,000	29,000	○ 32%
			90,000 枚/年以下				
			地域清掃回数	50	50	50	○ 100%
			50 回/年				
エコキャップ回収量	3,500	3,500	4,666	○ 133%			
3,500 個/年							

注) 二酸化炭素排出係数はH25年東京電力実績の0.530kg/kWhを適用した。

## ⑦ 環境経営活動計画

環境経営目標項目		取組項目	取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	・暖房温度は22℃で設定 ・冷房温度は28℃で設定
		照明の適正管理	・不在場所や休憩時の消灯
		エコドライブの励行	・アイドリングストップの遵守 ・急発進・急停止の抑制
	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	・給油時の燃費の確認 ・燃費計算後の反省項目の確認
		燃費目標達成車両台数の増大	・燃費優良車両の情報公開 ・提供情報の有効利用
		定期的車両点検整備	・定期点検日の設定と実施 ・自動車タイヤ空気圧の適正化 ・日々のメンテナンスの実地
一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	・分別基準の設定と分別ゴミ入れの設置 ・分別ゴミ入れへの遵守	
	搬出ゴミのリサイクル	・分別ゴミのリユース ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	・分別廃棄物入れへの遵守 ・産業廃棄物分別マニュアルの確認	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物のリサイクル	・分別廃棄物入れへの遵守 ・分別ゴミの適正な業者への引き渡し	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	・水道蛇口の漏水防止 ・トイレ使用時の適正使用	
	解体作業中の散水手順の遵守	・解体工事散水手順書の更新 ・手順書に基づく散水方法の遵守	
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	・グリーン購入マニュアルの確認	
	マニュアルに基づく注文の実施	・備品購入時のマニュアル確認	
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	・情報漏えい回避資料以外の裏紙使用 ・資料の電子文書化の推進	
	現場付近の清掃	・現場付近の清掃基準の作成 ・基準に基づく清掃の励行	
	エコキャップの回収	・自販機横にエコキャップ回収BOXの設置	

⑨ 環境経営活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

目標項目		今年度の取組内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	空調の適正管理	概ね達成できた。	継続して実施する。
		照明の適正管理		
		エコドライブの励行		
	収集運搬車両の燃費向上	各車両の燃費向上	現場増加に伴い、車両の使用率が上がった。年式の古い車両や、走行距離の多い車両もあるため、達成できない月があった。しかし前年度よりも結果が上がった。	エコドライブの徹底。買い替える時は環境にやさしく燃費の車両を検討する。
		燃費目標達成車両台数の向上		
定期的車両点検整備				
一般廃棄物排出量の削減	搬出ゴミの分別	組織図変更に伴い、内勤勤務者を増加したことにより一般ゴミも必然と増加した。さらに、内勤勤務者用の設備も揃えた際にも排出。目標値の見直しが必要と考える。	できるだけゴミが出ないように、再利用できるものを使用する。目標値を変更する。	
	搬出ゴミのリサイクル			
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
産業廃棄物の再資源化	産業廃棄物の分別	直接の再資源化ではないが分別をすることにより再資源化の一端を担う	継続して実施する。	
水使用量削減	節水コマや蛇口の工夫	洗車車両増加により使用量が大幅に増加した。達成月も少ないため、目標の見直しが必要。	目標値を変更して行う。節水コマや蛇口の工夫、散水手順の遵守は継続して実施する。	
	解体作業中の散水手順の遵守			
グリーン購入の推進	グリーン購入マニュアルの作成	概ね達成できた。	継続して実施する。	
	マニュアルに基づく注文の実施			
環境配慮サービスの提供	紙使用量の削減	概ね達成できた。	継続して実施する。	
	現場付近の清掃	現場近隣周辺清掃マニュアルを活用し、達成出来た。	継続して実施する。	
	エコキャップの回収	概ね達成できた。	継続して実施する。	

## ⑩環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- 環境関連法規の遵守状況をチェックした結果違反はありません。
- 関係当局から違反の指摘は過去三年間ありません。

※環境関連法規の取りまとめ表参照

## ⑪代表者による全体の評価と見直しの結果

環境方針、目標を定めて社員全員が内容を理解し取り組むことができました。

一人一人の取り組み意識向上が感じられました。

さらなる実践を継続していきたく思います。

環境関連法規の取りまとめ表

項目	規制区分				規制の対象 (環境側面)	関係法規制等	規制事項	調査方法	順守評価		順守確認日及び 最新の確認日
	法令	規則	条例	その他					順守確認の方法	順守及び最新 の確認者	
建設業法	○				解体工事	建設業法	建設業法第3条第1項の 解体工事業の許可	国土交通省新着メール配 信サービスに登録し 随時確認	現場担当者に確認	社長	2022/5/31
リサイクル		○			解体工事	建設工事に係る資材の再資源化 等に関する法律施行規則	第2条3項建築物に係る解体工事の工程は 次に掲げる順序に従わなければならない 1建築設備、内装材 その他の建築部分 2屋根瓦材の取り外し 3外装材及び 構造耐力上主要な部分の取り壊し 4基礎及び基礎杭の 取り壊し等 及び分別解体、建築物等に用いられた建設資材に係る建設資材 廃棄物をその種類ごとに分別しつつ解体工事を計画的に 施行すること	国土交通省新着メール配信 サービスに登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
産業廃棄物	○				産業廃棄物収集運搬  事業系一般廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に 関する法律  川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	第14条第1項の産業廃棄物収集運搬の許可  ①産業廃棄物が飛散、流出しないようにすること ②悪臭、騒音、振動で支障が生じないように措置をすること ③産業廃棄物の飛散、流出や悪臭飛散のおそれのない 密閉容器、運搬車両を用いること ④許可の更新を5年ごとにすること ⑤不法投棄をしないこと ⑥野焼きをしないこと ⑦マニフェストを5年間保存すること ⑧産業廃棄物収集運搬委託契約を書面にてすること ⑨収集運搬時はマニフェストを使用すること  事業者自らの責任において適正に処理しなければならない	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
騒音規制法	○				解体工事	騒音規制法 第三章 特定建設作業に 関する法律	騒音規制法の騒音規定値を遵守する 指定地域内において特定建設作業を伴う 建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の 開始の日の7日前までに届け出なければならない	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
振動規制法	○				解体工事	振動規制法 第三章 特定建設作業に 関する法律	振動規制法の振動規定値を遵守する 指定地域内において特定建設作業を伴う 建設工事を施工しようとする者は、当該特定建設作業の 開始の日の7日前までに届け出なければならない	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
生活環境保全			○		解体工事	川崎市公害防止等生活環境の 保全に関する条例第65条	屋外作業振動、騒音をより少なくする方法への変更 時間の配慮、作業員への教育、指導を行い騒音、振動による 公害の発生を防止しなければならない	<a href="https://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000013995.html">https://www.city.kawasaki.jp/300 page/0000013995.html</a>	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
事業系一般廃棄物	○				解体工事	廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	①委託基準の遵守 ②業者への資格確認	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	業者HPで資格の確認	社長	2022年5月31日
リサイクル	○				家電品の使用及び排出	特定家庭用機器再商品化法 法令第6条 (家電リサイクル法)	長期間の使用と廃棄物の抑制 適切な引渡しと料金の支払い	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	固定資産台帳 家電引渡書の確認 2回/年	社長	2022年5月31日
リサイクル	○				使用自動車の排出	使用自動車の再資源化に 関する法律 法令第8条・第73条 (自動車リサイクル法)	自動車の保有者は、当該自動車を使用済自動車と なったときは、引取り業者に当該自動車を 引き渡さなければならない リサイクル費用を資金管理人に対して 預託しなければならない	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	固定資産台帳 の確認 2回/年	社長	2022年5月31日
他	○				フロン排出抑制法	フロン排出抑制法 特定解体工事元請業者が 特定解体工事発注者に交付する 書面に記載する事項を定める省令	第一種フロン類回収業者の登録 第一種フロン類取引、引渡し等の義務の遵守 行程管理表の導入 第一種特定製品(業務用エアコン)	簡易点検 3ヶ月に1回以上 定期点検:年に1回以上 (専門業者が実施) 7.5kw以上の業務エアコン	工程管理表の確認	社長	2022年5月31日
他			○		アスベスト廃棄物	非飛散性アスベスト廃棄物の 取扱いに関する技術指針	収集運搬の飛散防止と他の廃棄物との混合防止 落下防止とした構造の運搬車両	環境省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	運転手に確認	社長	2022年5月31日
他	○				大気汚染防止法	18条の15第1項及び第2項	事前の届出 飛散防止の対策 看板掲示	厚生労働省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日
他	○				労働安全衛生法	石綿障害予防規則 第2章第3条-第15条	健康障害の防止 事前調査、分析調査 事前の届出	厚生労働省新着メール配信サービスに 登録し随時確認	現場担当者に確認	社長	2022年5月31日